

つなぐあひ

題字：有蘭 かおりさん



編集・発行 社会福祉法人 鹿児島市手をつなぐ育成会
〒891-0102 鹿児島市星ヶ峯 2-1-1 鹿児島市知的障害者福祉センター 2F (ふれあい館)
Tel・Fax 099-264-8725
希望の園／育成センターコスモス／第二コスモス／とまと／ふもと／さくらんぼホーム／すみれホーム
ホームページアドレス <http://tewotsunagu.org/>



鹿児島市手をつなぐ育成会 平成26年成人式 (ふれあい館)

「創立五十周年を迎えて 新たな飛躍の契機に！」

事務局長 本田 義己

鹿児島市手をつなぐ育成会は、昭和三十九年五月に鹿児島市精神薄弱者育成会として発足し、本年五月で創立五十周年を迎えます。

草創期から翔び立ち、施設整備・充実期を経て、現在は将来構想大綱実現に向けて法人を挙げて取り組んでおりますが、初代の四本理事長をはじめ、多くの諸先輩や一諸になつて取り組んでこられた家族の皆さん(特にお母さん方)に改めて御礼申し上げます。

ところで、育成会は「運動体」(親の会)と「事業体」(各施設運営)が車の両輪として、お互い緊密に連携しながら運営されていかなければなりません。このことは、片方が突出してもよくないし、お互いがバランスよく発展していくということです。五十周年を迎えるにあたり、「運動体」と「事業体」の原点に立ち返り、再度、それぞれの目的を確認し、会員、職員一丸となって時代の要請に沿った展開をしていかなければと考えております。

さて、育成会の課題は様々ですが、大きく二つに集約してみました。一つは未就学児を含む学齢期児童生徒の受け入れ体制の確立。二つ目は利用者の高齢化に対応する施設設備の充実化です。

具体的には「放課後等デイサービス事業」や「児童発達支援事業」の実施であり、一方「グループホーム(ケアホーム)」の年次の整備等であります。

この他にも課題は種々ありますが、育成会としても現在行っている各施設での事業の充実を図るとともに、時代の要請や利用者のニーズを的確に把握し、「すべての知的・発達障害児(者)が人として豊かに暮らせるように」親の会の願いを実現していかなければと考えております。

グループホームの一元化等の施策について

グループホームコスモス サービス管理責任者 田中 真勝

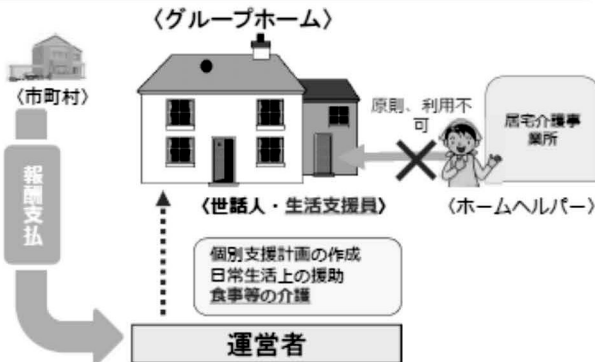
障害者福祉のグループホームは、概ね日常生活面で自立をされた方が入居をされ、食事や家事等の支援を受けるのに対し、ケアホームでは日常生活での食事や家事等の支援に加えて、入浴・排泄等必要な生活支援を受けながら暮らすという違いがありました。高齢化・重度化しても同じグループホームを利用できるように、ケアホームにおいても支援の必要性に応じて柔軟に対応できるようにするため、一元化が実施されます。つまり今後はグループホームとケアホームが一体的に運営されて、高齢化により入浴等の支援が必要な状況になれば、必要とする支援を受けられる体制が求められていくものと思われれます。その中で、グループホーム関係職員によるサービス提供だけでなく、外部の居宅介護サービス（身体介護）をさせるようにすることや、一人暮らしをしたい人のため、本体住居と連携した「サテライト型住居」の仕組みも創設されようとしています。

障害を持たれた方の居住の場については、ニーズに応じていろいろな形が検討されつつあります。地域の中で生活を続けていけるよう、サービス等利用計画で調整をしつつ、就労や日中活動・休日の余暇活用等いろいろな関係機関と連携を図りながら、障害を持たれた方の自己実現のために、支援をしていくことができたらと思っています。



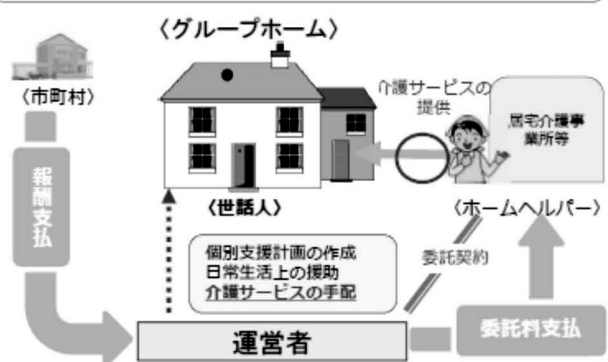
介護サービス包括型のイメージ

- ★介護サービスについては、現行のケアホームと同様に当該事業所の従業員が提供。
- ★利用者の状態に応じて、介護スタッフ（生活支援員）を配置。



外部サービス利用型のイメージ

- ★介護サービスについて、事業所はアレンジメント（手配）のみを行い、外部の居宅介護事業者等に委託。
- ★介護スタッフ（生活支援員）については配置不要。



鹿児島市手をつなぐ育成会 の事業を利用されている皆さんの声

僕の将来の夢

ふもと 藤崎 浩昭

僕は、障害福祉サービス事業ふもとに来てから、十年以上が経ちます。通所した頃にはふもと事業所とは、どんな所なのか、さっぱり分からないうことだらけでした。でも、谷口施設長や、職員に支えられて、これからも事業所の利用者に感謝して、がんばって行こうと思います。第二ふもとと統合して、皆様と明るい一日で、事業所の仲間として来年からも、事業所の皆様と一緒に力を合わせてがんばって行こうと思っています。それから、みんなと一緒にがんばって、来年度も職員一同と共に市育成会の皆様方と、力を合わせて解決していこうと思います。僕の将来の夢は、母の介護をがんばって助け合っで行こうとがんばることです。これからも、皆で頑張っていきたいです。そして、市育成会の皆様方と一緒に、みんなががんばって行こうと思えます。



とまとでの日々

とまと 森山 哲

私は、とまとの就労継続B型を利用しています。主な仕事内容は、公園やふれあい館の清掃、菓子箱の組み立てパンフレットを折ったりと、様々な仕事があります。ただ作業をするのではなく、私は、常に作業納期を意識して取り組んでいます。納品の際には、職員の方に同行して行きます。みんなで頑張るって仕上げた物を収める時は、とても達成感があり、嬉しいです。しかし、毎日作業だけを行っているのではなく、クラブ活動や自治会活動その他、様々な活動があり、昼休みには、毎日野球をしたりして体を動かすのが楽しみです。私は、五月に行われる障害者スポーツ大会にソフトボール投げの選手として出場する為最近では、その練習も行っています。



すみれホームの生活

グループホームすみれ 川口 暁子

私はホームに入る前に皆から、直ぐ辞めると思われていましたが今年でホーム生活十二年になりました。最初の頃は、部屋掃除も上手に出来ませんでした。今は少しづつ上手になり綺麗な部屋で過ごすのは気持ちも落ち着きます。私はパン屋さんでカレーパンを作る仕事をしてホームから出勤しています。最初の頃は失敗ばかりでしたが、今は綺麗なカレーパンを作って皆が美味しいと買ってくれと嬉しくなりました。嫌な事があるとスイミングスクールの気分転換しながら楽しみます。私が大人になって来るのは世話人さんや周りの人が応援しているからだと思います。



わくわくコスモス楽しいよ

田上小六年 有蘭 凜太郎

わくわくコスモスを利用するようになって、コスモスの先生が学校まで車で迎えに来てもらえるので、とてもうれしいです。わくわくでのほくのお気に入りの活動は、誕生会とおかし作りです。カルピスやシャーベ、モコモコ、クッキーなどを作りましたが、みんなで食べるお菓子はとてもおいしいです。三月には、小学校を卒業しますが、中学生になってもわくわくを利用したいです。わくわくには、坂元小、田上小、玉江小、星ヶ峯東小、武岡台養護学校の小学部、中学部、高等部のみんなが集まりますので、これからもみんなと仲良く過ごしたいです。

誕生日です。みんなで乾杯!!

クッキー作りです。小菓粉を混ぜます。

福袋を作って嬉しかったです。おもしろかったです。

新規事業所紹介

「きぼう学舎」が開所しました

児童発達支援管理責任者

平原 陽子

平成二十五年十二月一日、鹿児島市東谷山の街中に「放課後等デイサービス事業所きぼう学舎」が開所いたしました。



鹿児島市手をつなぐ育成会としては「わくわくコスモス」に次ぐ二番目の事業所です。

近辺には市電やJRなどの公共交通機関や、地元商店街及び大型シヨ

ッピングセンターなど、多くの社会資源に恵まれており、買い物などの屋外活動に利用しています。

また、小スペースの事業所ではありませんが利用者一人一人に目が届きやすく、「街(都会)型」「コンパクト」が魅力です。



近辺には多くの小・中学校や特別支援学校がありますが、まだまだ鹿児島市内における放課後等デイサービス事業所の数が少なく、需要と供給のバランスがとれていない状況がありました。今回の開所で、少しでも御家族の負担を和らげ、利用者が方が放課後、安心した時間を過ごさ

れるよう、サービス向上に努めていきたいと思えます。

ここで、「きぼう学舎」の運営方針を紹介いたします。

障害児が生活能力の向上のために必要な訓練を行い、社会との交流を図ることができるよう、当該障害児の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて、適切かつ効果的な指導及び訓練を行うものとします。

実施するサービス内容は次のとおりです。

- 一 個別指導
- 二 集団指導
- 三 関係機関との連携
- 四 健康状態の確認
- 五 送迎サービス

対象者は小学校、中学校、及び特別支援学校の小学部、中学部、高等部に就学して授業の終了後、または長期休業日に特別な支援を必要とされる児童・生徒で、定員は十名です。

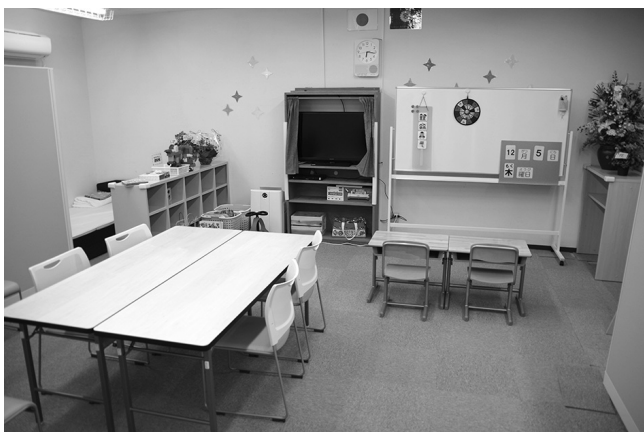
受け入れ曜日は、月曜日から金曜日までです。(国民の休日、十二月二十九日から一月三日までは除きます。)

サービス提供時間は月曜日から金曜日の十六時から十八時までです。

(長期休業中は十時十分から十五時までとなります。)

開所して三か月が経ちましたが、就学前のお子さんについての相談や見学を受けることも多く、放課後等デイサービス事業における潜在的なニーズが大きいことを感じています。

現在、児童発達支援管理責任者以下、幼稚園、小学校、特別支援学校、施設経験者等、たのしい四人のスタッフで、このサービスが広く利用者とその御家族の生活のサポートのひとつとして御利用いただけるよう、がんばっているところです。



新「さくらホーム」の開設

グループホームコスモス管理者

出来 喬

平成元年に全国で百のグループホームが認可されたと聞いております。当時、先輩方の並々ならぬ御努力により、現在の「さくらんぼ」「すみれ」の両ホームは、その平成元年に他に先がけて開設されました。その後、当法人には新たなホームの建設はなされておりません。

この度、紫原に整備を進めております新ホームは、当法人の将来構想大綱を基に策定された「グループホーム整備計画」に基づくものであります。場所は、紫原六丁目の一本桜公園に近い住宅地で、利便性の高い所にある賃貸住宅です。部屋数は七LDKとゆとりある間取りで、ホームに充てるにはまことに好都合な物件であります。

新ホームは、その名称を「さくらホーム」とし、定員五人の男性ホームを予定しております。世話人さんは、幸いに住み込みで常駐していただける方をすでに内定いたしております。現状では、支援員の配置は考えておりません。つまり、今回のホームは、食事、排泄、入浴等についてほぼ自立しておられる入居者を対象に整備を進めております。(もちろん、生活介護を必要とされる利用者の入居を目的とした新たなホーム

の建設につきましては、当法人としては、先の「整備計画」に基づき推進して参ります。)

さて、当初、開設を二月一日と見込んでおりましたが、消防設備等を含め行政の指導による内部改修等の関係もあり今のところ、開設は四月一日を予定いたしております。

新しいホームでは、既存の両ホームと同じく、入居者の皆さんが、自分らしさを十分に発揮しつつ、ホームを正に「自分の暮らし」がある快適な家として伸び伸びと生活していただけるような運営に心がけたいと思います。

無事開設いたしましたら、順調な船出ができますよう、是非皆様にも御協力と御支援を賜りますようお願いいたします。



「窯業棟」まもなく竣工

育成センターコスモス

内村 勝志

タイヨー松元店前のコスモス敷地内にもまもなく陶房が完成します。名称は、秋桜窯(しゅうおうがま)です。利用者様の創作活動の自由な自己表現の場として、生活に喜びと生きがいをもたらすものとしてしたいと思います。

陶芸は、「用と美」、「粘土と釉薬と火」の芸術です。焼成後の自分の作品の出来栄は、全く未知の世界です。窯の扉を開ける瞬間の醍醐味も味わっていただきたいと思っております。

鹿児島大学名誉教授であり、元鹿大附属養護学校校長で、現在も高等部卒業生に二十二年間、湯呑みを贈り続けておられる厚東孝治先生のもとに職員が習いに行っています。教わったことを利用者様に還元できるように熱心に勉強しているところであります。

この窯業棟が、育成会や地域の方々に親しまれ、交流の場となることを願っています。



竣工前



竣工後

祝 新 成 人

成人を迎えて

とまと
浅井 智之



成人式に参加できて、うれしかったです。ふれあい館では、たくさんの人から祝っていただきありがとうございます。ございました。

現在、「とまと」で働いています。事業所では、箸入れ、チラシ折り、ふれあい館内の掃除もしています。午後からは、体操やカラオケなどの余暇活動も楽しんでいます。

今の自分が元気で働けるのは、家族や多くの人にお世話になっっているからです。感謝しています。これからも、一日一日を頑張っていきます。応援してください。

伝えられない君へ

なごみ

濱平 達也

もしも君が思いを伝えることができなかったら、今なんて言うのだろう。

君にとって「成人」という言葉は何の意味も持たないのかもしれないけど、私達を見守り、支え、導いてくださった方々への感謝だけは忘れないでね。

周囲の支えなしには生きていけない君だけど、君の純粋さと優しさと控えめな笑顔は、いつも家族を救ってくれたから、幸せの意味を教えてください。君に心から感謝します。ありがとう。

(母)

平成 26 年 新成人出席者名簿

●鹿児島大学教育学部附属特別支援学校

川山 拓
溝上 竜麻

森山 滉也
森山 雄大

小畑 夏稀
京田 真歩

平田 里沙

●鹿児島県立武岡台養護学校

樋渡 拓也
樋渡 優也

濱崎 裕貴
濱田 彩香

末川 毅児
要島 紅音

吉永 大介
三島 悠太郎

八重倉 正次郎
中島 孝緒

山本 宗一郎
久保 志緒

●鹿児島城西高等学校

中原 成仁
山内 秀平

●鹿児島県立聾学校

高瀬 翔汰



出席者 22 名 (男子 16 名・女子 6 名)

●新成人の該当者

平成 5 年 4 月 2 日 ~ 平成 6 年 4 月 1 日生

わくわく福祉交流フェア

事業部長 福田 孝志

より多くの市民や福祉施設、関係団体の方々に参加・交流していただけるよう、装いを新たに中央公園等を会場に、「第二回わくわく福祉交流フェア」が鹿児島市と市社会福祉協議会の共催で平成二十五年十一月十日に開催されました。当法人からは、本部・事務局や事業所（コスモス、第二コスモス、とまと、ふもと）が模擬店を出し、芸芸班・園芸班・家族会等で製造、生産した品物やコーヒー等を販売しました。中央公園での二回目の開催



ということもあり、利用者や家族の皆さんも昨年とは違い余裕をもって出店での買い物や催し物の参観等をされています。代表の利用者や家族会の皆様には、模擬店の準備や当日の運営等に多大な御支援を頂きました。また、多くの市民の皆様が私たちに「鹿児島市手をつなぐ育成会」の活動の理解や物品の購入をしていただきました。

今回の反省と課題を来年度の開催に生かし、改善していけるよう取り組んでまいります。御協力いただいた皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

第四十七回 仲よし運動会を終えて

事務局長 本田 義己

今年度は、平成二十五年八月二十四日（土）に鴨池ドームで行われ、八百人近くの児童生徒、保護者等が参加しました。昭和四十二年十月に第一回が附属中学校で行われ、途中一度も中止することなく続けられ、四十七回を迎えたこととても素晴らしいことです。

初めのころは附属中学校で行われていたのですが、地域の皆さんに障害にもめげずに頑張っている子どもたちを少しでも理解していただくようと、第七回目からは会場の小中学校を市内五ブロックに分けて、当番制で行われるようになったことです。

市長や教育長も参加されるなど歴史と伝統のある運動会として、育成会が主催をさせていただいておりますが、なんといっても、毎年、担当地区の特別支援学級担任の先生方や保護者をはじめ、多くの学校関係者のご協力のお陰であり、本当に有難うございます。

リハーサルなしのぶっつけ本番運動会ですが、大きなトラブルもなく、予定時間前後で終了できており、子どもたちの限らない潜在能力を感じております。



表彰

〈鹿児島市社会福祉功労表彰者〉

新田 祐 幸様
(希望の園)

☆平成二十五年度

県保健福祉大会表彰者☆

原園 久子様
(前めぐみ 福祉作業所長)

〈県知事表彰者候補〉



〈眞理事長表彰〉

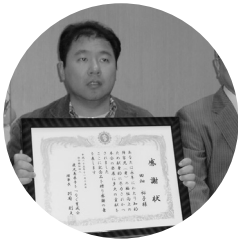
下池 俊 英様
(南九イリヨー勤務)



(故)田 畑 裕 子様

(前) あゆみ会代表

田畑英隆様 代理受賞



児童発達支援事業が
始まります

多機能型事業所わくくコスモス

児童発達支援管理責任者 木原 美和

平成二十五年六月から、石谷町の民家で放課後等デイサービス事業が始まりましたが、おかげさまで、毎日十名近くの利用者が活動する事業所として展開しています。その民家で、この四月から、児童発達支援事業を新たに始める予定にしておりますので、紹介をさせていただきます。

事業所名は、「多機能型事業所わくくコスモス」です。未就学児を受け入れる児童発達支援事業の定員は、十名です。保育士二名が支援に当たります。営業日は、月曜日から金曜日まで(ただし、国民の休日は除きます)、サービス提供時間は、十時から十三時までです。サービスの内容は、日常生活における基本動作の訓練および知識技能習得のための個別指導や集団生活適応訓練・社会生活適応訓練などの集団指導、関係機関との連携、健康状態の確認、相談に関する助言、社会資源の活用、安全管理などです。簡単に紹介させていただきましたが、説明の行き届かない箇所につきましては、電話等で問い合わせただけると助かります。

☎〇九九―二七八―一四八です。お待ちしております。

第二回家族研修会

研修部長 谷口みのり

テレビラジオなどで幅広く活躍しておられるMBCタレント「野口たくお様」を講師としてお招きし、「元気があれば何でも出来る」と題して文化講演会を開催いたしました。



鹿児島島の方言・食べ物・歴史等をユーモアを交えた話術と、大きく、元気な声で講演していただきました。

開場内は、ほのぼのとした空気に包まれ、笑い声が絶えず、参加された方々も笑顔いっぱい、元気を貰って帰れる」とうれしい言葉も頂き、しばし楽しい時間を過ごすことができました。御協力くださりありがとうございました。

第一回学齢期
保護者研修会

学齢期保護者代表 新地真由美

今年度第一回目の学齢期保護者研修会が、十一月二十六日にふれあい館にて開催されました。

今回は、同じく学齢期の保護者の米盛章子さんを講師に招いて、「信じること信じてもらえること わかること わかってもらえること」を大人って、どんな人？の演題で、御自身の体験をもとに、兄弟児や学校の先生との関わり方や、思春期の悩みなどをお話ししていただきました。



「子どもがやっている事は、困った事ではない。サインである。子どもの場合に行っている、子どもの目線で見ると、子どもの事が分かる。人と比べない生き方をした方が、より価値的である」という内容でした。

会場は同じ悩みを持つ母親同士で共感し、あつという間の二時間でした。私たちの為に、貴重なお話を聞かせてくださいました米盛さん、学齢期研修会に向けて御尽力くださいました研修部の先輩のお母様方に深く感謝申し上げます。



ふれあい館コンサート(12/14)



1日レクリエーション フラワーパーク(10/13)

育成会活動紹介

施設文化祭

伝えたかったこと

希望の園 久保 繁騎

幕が上がる。ピアノ伴奏者を除けば、舞台上には二十二人の利用者の方のみ。舞台発表の支援方法で迷ったことがあった。利用者さんの傍らに寄り添い支援を行うかどうかである。結果は、「存分に練習した結果である。本番は利用者さんのパフォーマンスに任せよう。」ということになった。

舞台袖で祈るように見守る支援員。結果は大成功であった。堂々とやりきった感の利用者さんと対照的な安堵感の支援員。御家族にも「すばらしかった」と評価をいただいた。

「利用者さん方の自尊感情を大切にしたい」「なるべく多くの方々に知ってほしい。」「日ごろのこれらの思いを同時に実現する機会となった施設文化祭であった。



新任職員紹介

希望の園・きぼう学舎

・平原 陽子

(第二コスモスより) 異動

・藤掛 考保

・桃北 綾香

・上村 伸雄

・下笠 裕美

育成センターコスモス

・深川 智子

(わくわくコスモス)

第二コスモス

・丸田 博子

・有木 照美

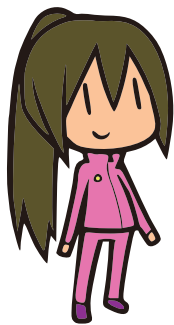
・原田 美香

とまと

・竹迫 孝二

ふもと

・川原 康仁



(順不同)

平成二十六年度 上平朝行事予定表

月	4	5	6	8	9
月 期日	4日(金)	14日(水)	8日(日)	23日(土)	27日(土)
行事(開催場所)	・月例会(毎月第1金曜日) ふれあい館	・愛のひとしづく (ハンカチ販売等説明会) ふれあい館	・総会 ふれあい館	・第48回仲よし運動会 鴨池ドーム	・ふれあいスポーツ大会 鹿児島国際大学 フィールドハウス ・第63回全日本育成会全国大会 島根県

編集後記

平成二十五年度は、将来構想大構をもとに、市育成会として、そして各事業所でも様々な動きや事業の拡大が見られた一年となり、利用者様・家族・会員の方々には「今何を伝えるべきか」「どんな情報を求めているのか」という二点を常に念頭に置き、構成を考え、進めてまいりました。今号も、様々な情報や記事を掲載しており読者の方々の心に何か残せる事ができたならとても光栄です。最後に、今回、ご多用の中、玉稿をお寄せくださった方々に、感謝を申し上げます。